



令和4年3月16日
愛知県立岡崎聾学校
教務部

春も読書に親しもう！

おだやかな陽気に花のつぼみが色づき、春の訪れを感じることも多くなりました。春は修了式や卒業式があり、友達との別れにさびしい気持ちになることもあります。けれども、新しいことが始まるワクワクやドキドキもいっぱい待っています。そんな皆さんの気持ちをやさしく包んでくれる本が、ふれい本の森にはたくさんあります。

今、ふれい本の森では、新年度に向けてさまざまな準備をしています。皆さんの喜ぶ顔が見られるかな？と今からとても楽しみです。



【新しい本の紹介】



「ありこのおつかい」

アリのありこは、カマキリに飲みこまれ、そのカマキリは次に…。



「日本郵政のひみつ」

近代郵便の父・前島密さんと郵便のはじまりと発展を見に行こう！



「くちぶえ番長」

小学4年生のツヨシのクラスに一輪車とくちぶえの上手なマコトがやってきた。転校早々「わたしこの学校の番長になる！」と宣言し、みんなはびっくり！



「図書館の神様」

赴任した高校で、文芸部の顧問になってしまった清。そこでの出会いが、その後の彼女の人生を変えてゆく。



「発達障害の僕が『食べる人』に変わった すごい仕事術」

発達障害当事者である著者が、試行錯誤と度重なる失敗の末に身に付けた「本当に役立つ」ライフハックだけを詰め込んだ一冊。



【本のリレーをしよう！】



「レインツリーの国」
(有川浩/著)を先輩に
紹介しました。登場
人物の女の子・ひとみ
と、私は境遇や考え方が
少し似ていて、共感
する場面がたくさんあり
ました。

先生からすすめられ、「君
の臍臓を食べたい」(住野
よる/著)を読んでいます。
タイトルを聞き、ホラー小
説?と思いましたが、まった
く違いました。何度も読む
ことで、新しい発見がある
ので、二、三度読みたいと
思っています。



次は君にバトンが
届くかも？

【多読賞発表】

※4月1日～3月8日 調べ

今年度、ふれい本の森の本を最も読んだ児童生徒は…

- | | | |
|----|----------|--------|
| 1位 | 小学部1年生児童 | (103冊) |
| 2位 | 小学部1年生児童 | (102冊) |
| 3位 | 小学部4年生児童 | (75冊) |

でした。おめでとうございます。来年度は君かな？



ふれい本の森に
行こう！



【校務補助員の 高岡さん・竹下さんより】

手話読み聞かせ会では、みんなの
笑った顔や真剣に聞く表情などが
見られて、私もとても楽しかったで
す。またやりたいなあ。

ふれい本の森に来てくれてありがとう。
この本は、一番新しい大型絵本だよ！
迫力満点!!



みんなといろいろなお話ができて、
一年間楽しかったよ。また、たくさん
お話を聞かせてね！

4月からはもっと本が増えるので、
楽しみにしていてね！



いまじゅんぴちゅう
ただ今準備中！